

【1】大阪公立大学森之宮キャンパスの福利厚生事業で目指すこと

2024 年 2 月、公立大学法人大阪と大阪公立大学生生活協同組合は「大阪公立大学森之宮キャンパスにおける福利厚生業務委託契約書」を締結し、それに基づき「森之宮キャンパスにふさわしい福利厚生事業」を検討して参りました。

その中で、「目指すこと」として、次の 4 点を掲げ、それぞれの福利厚生業務を実施します。

昼食時間帯の課題を解決し、学生生活を支えます

大きな課題である昼食時間帯の需要に関する課題を、スマートキャンパスや混雑見える化、テイクアウトフードによる分散利用促進などさまざまなアイデアで解決し、学生生活を支えます。

スマートキャンパスを通して、今までにない体験を提供します

大学スマートキャンパス構想に呼応し、キャッシュレスの推進、大学生協初となる生協電子マネーによるモバイル決済システムの展開、無人店舗による次世代店舗の展開など、森之宮キャンパスならではの体験を提供します。

デジタルサイネージなどを活用し、情報を伝えることを大事にします

食堂の時差利用などの促進を図るため、食堂カウンターやホールの混雑見える化をすすめ、その情報を大学デジタルサイネージや大学アプリなどで適宜提供することなど、情報を伝えることで学生の皆さんの最適行動を支援します。

オンリーワンの福利厚生施設を、学生とともに作り上げます

これらさまざまな取組を、大学タスクフォースや生協組織部、学内団体と連携することで、「森之宮キャンパスならではの」福利厚生施設を作り上げます。



【2】設備計画

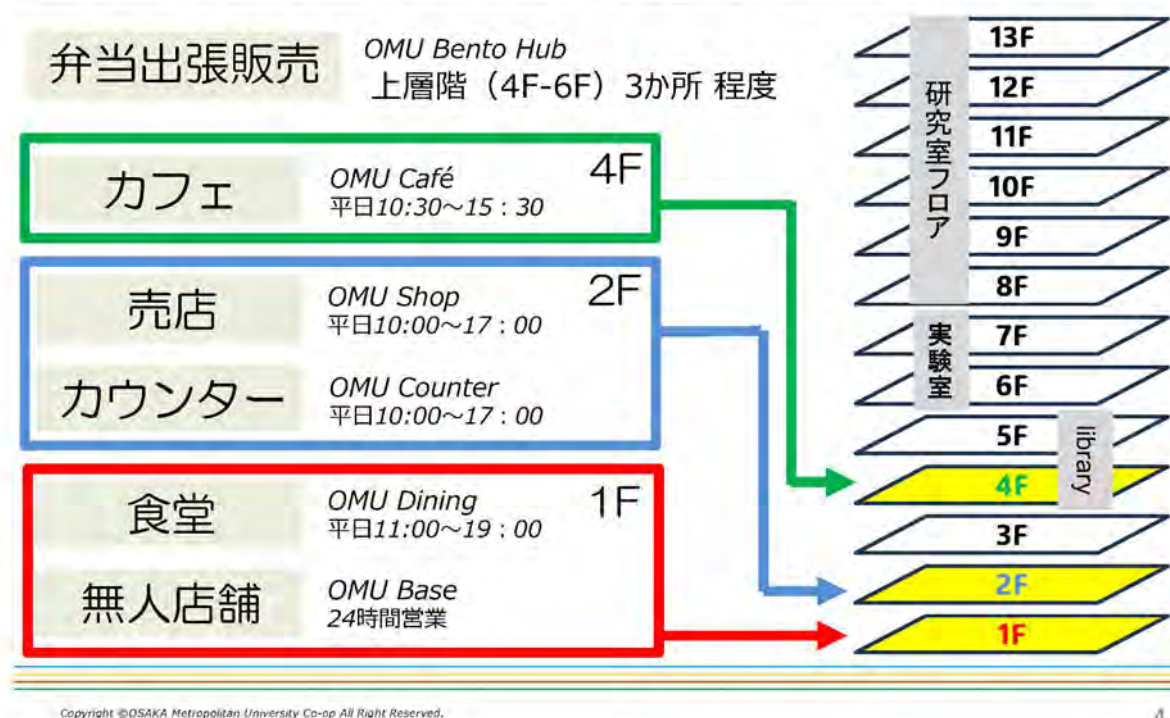
1. 生協が使用する施設

(1) 福利厚生施設の所在地

- ・食堂厨房・出食カウンター 1階
- ・食堂ホール 1・2階（637席（テラス席含めると721席））
- ・カフェ 4階
- ・売店 2階
- ・サービスカウンター 2階
- ・無人店舗 1階（学生ラウンジ内）
- ・コピー機 4階（プリントステーション内）
- ・テイクアウト弁当特設販売拠点（昼休みのみ） 学舎内の中層階に3カ所

※これら施設は公立大学法人大阪より無償貸与予定。

森之宮キャンパス 開設店舗



4

【3】生協福利厚生事業計画の概要

1. 基本的な考え方

- (1) 大阪公立大学の理念と目的に沿って事業活動を行い、大学の福利厚生の充実に貢献します。
- (2) 組合員（学生・教職員）の勉学・教育・研究機能を支える商品・サービス・情報の提供や提案を行います。
- (3) 大学生活と日常生活の文化的経済的向上を図るための商品・サービス・情報・企画の提供や提案を行い、学びと活気にあふれる豊かな生活の創造に貢献します。
- (4) 組合員の総意に基づく運営を原則とし、全国の大学生協と協力・連帯してより高いレベルの福利厚生事業を

行います。

2. 生協福利厚生事業の基本方針

森之宮キャンパスにおいては、フード事業とショップ事業、及び生協組合員をサポートする総務部機能を提供します。特に、昼食時間帯の利用集中対応については最重要課題と認識し、「学生を中心としたキャンパスでの食事需要を、キャンパス内で利用分散を図りつつ、多様な提供手段を用いて、安心・安全・適正価格で提供する」事で満たします。

3. 店舗運営

食堂 OMU Dining (1階・2階<座席のみ>)

【営業時間】 平日 11:00～19:00 (L.O.18:30)

※短縮営業時は杉本・中百舌鳥同様 11:30～14:15 (予定)



<営業形態>

- ・食堂：カフェテリア方式の食堂
- ・キャッシュレスに対応し、生協電子マネー決済対応レジを基本としながら、コード決済などの一般キャッシュレス決済に対応するレジも用意します。
- ・特に生協電子マネーでの決済では、モバイル決済などの仕組みを導入する検討をしています。

<メニューについて>

- ・クオリティの高い大量出食が可能なコアメニューを中心に、年 8 回行われる季節感やトレンドを取り入れたフェアメニュー、学生(組合員)とともに作り上げる独自メニュー・TFT メニューで多様な食のバリエーションを提供します。

- ・出食カウンターのうち一つを、「チャレンジキッチン」と定義します。公立大オリジナルメニューの販売やさまざまな企画メニューの販売が出来るようにします。このカウンターのみ先進的なソリューション（事前決済・事前オーダー専用の「モバイルレーン」としての運用）を提供できるような仕組みを導入します。
- ・食器については、カーボンニュートラルな製品（台和・バイオスメラミン食器）を導入します。テイクアウト弁当はリサイクルしやすい特殊な容器を使用します。これらにより、知の森にふさわしい食環境を提供します。

＜注文方法・決済手段などについて＞

- ・スマートキャンパスにふさわしいソリューションの提供を追求します。具体的には、モバイル決済専用レーン「モバイルレーン」を導入します。
- ・昼食時間帯には相当の混雑を想定しています。生協電子マネー並びにコード決済などの一般キャッシュレス決済を可能とし、時間帯により現金決済をお断りする事も検討することで、スピーディーな利用をして頂けるようにします。
- ・キャッシュレス決済については、現在食堂での生協電子マネー・ミールカードでの決済率は9割弱となっている状況を踏まえ、一般キャッシュレス決済を利用可能としつつ、生協電子マネー・ミールシステムでの決済をメインに位置づけます。
- ・「オーダー待ち列や食堂ホールの混雑状況の見える化」を行い、学内サイネージやアプリ等で混雑状況を確認できるようにします。これにより、時差利用を促進し、ストレスなく利用場面を増やします。
- ・食堂内のサイネージを強化し、前述の「オーダー待ち列や食堂ホールの混雑状況の見える化」はもちろん、メニューなどさまざまなデータを提供します。また、スマホでメニューを確認できる仕組みも既存のものからブラッシュアップします。これらによりもっと便利にご利用頂けるようにします。

＜地域の皆さまのご利用と来訪者価格について＞

- ・地域住民の皆さんの利用を歓迎しますが、キャンパス内の昼食需要を優先する観点から、13:30 からのご利用をお願いしたいと考えています。
- ・現在既存キャンパスで実施しています「来訪者価格制度（公立大生協に加入されていない方の食堂利用において、ご利用金額毎に一定の割増価格を頂戴する制度）」について、森之宮キャンパスでも実施させていただきます。

＜提供する商品群など＞

- ・主菜(おかず)/副菜（小鉢など）/丼・カレー/チャレンジキッチン
- ・公立大オリジナルメニュー（大学タスクフォースで検討中）の提供
- ・テイクアウト弁当の製造（販売は2階ショップ、4階カフェ、特設販売拠点にて）
- ・麺類の通常提供は、提供時間が長くなり、混雑の原因にもなりますので、昼食ピーク時は提供しません。

テイクアウト弁当 OMU Bento と特設販売拠点 OMU Bento Hub（3階・5階・6階＜予定＞）

＜テイクアウトについて＞

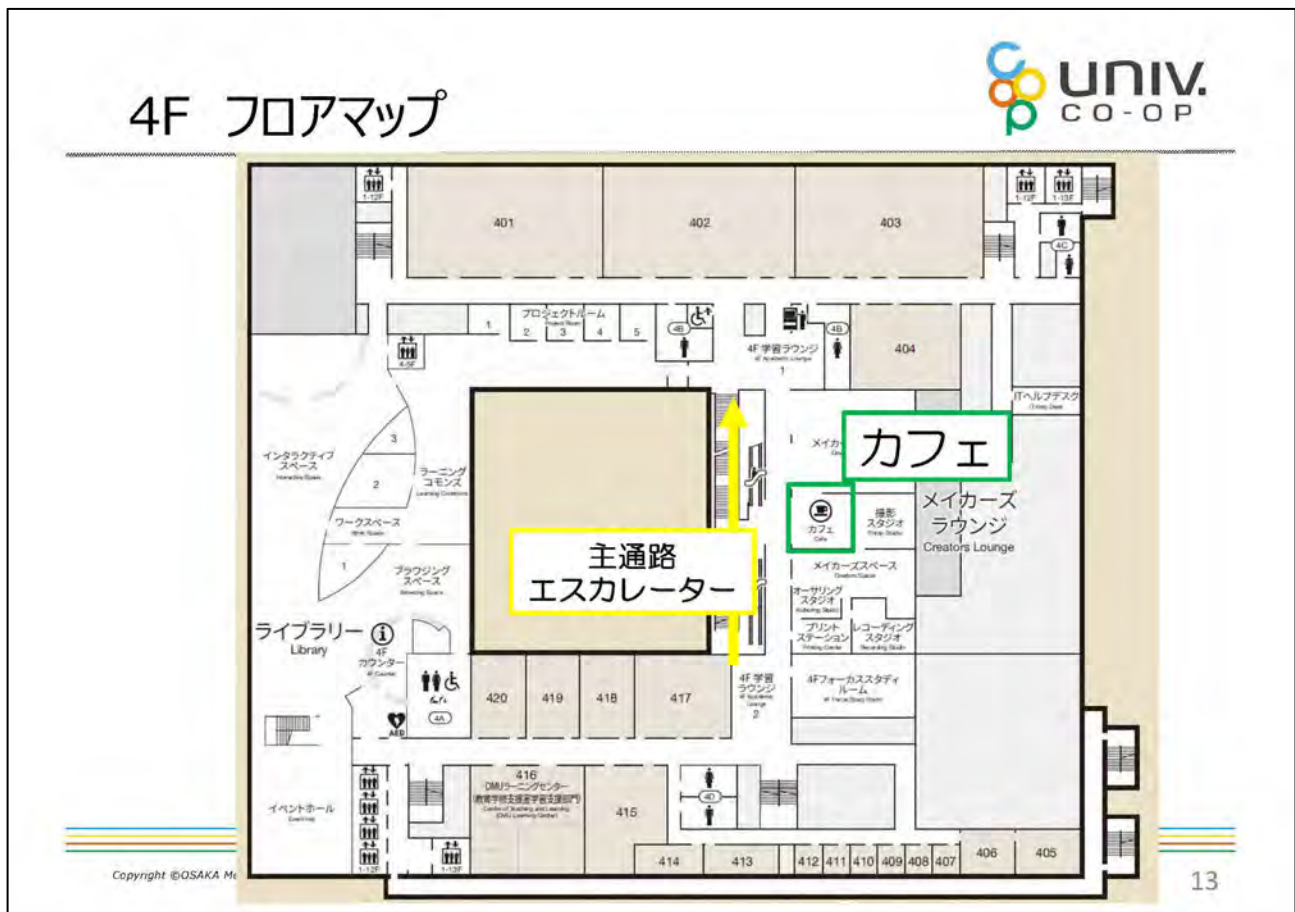
- ・昼食時間帯の混雑緩和の観点から、テイクアウトフード（OMU Bento）の展開が重要となります。厨房内で一定数のテイクアウト弁当を製造できるような厨房レイアウトにして頂きましたので、キャンパスのテイクアウト弁当製造拠点として、売店、カフェ、テイクアウト弁当特設販売拠点（OMU Bento Hub）に商品を供給します。

- ・テイクアウト弁当特設販売拠点（OMU Bento Hub）は、定置型ではなく、移動式で昼休み時のみの運営とし、3 階・5 階・6 階に設置を検討しています。それぞれの拠点には、教育後援会の協賛を賜り、温かいまま運ぶことができる温蔵カートを導入します。
 - ・また、販売方法も大学生協初となる「生協電子マネーモバイル決済」での購入のみとします。スマホで事前に「3 階で販売しているカツ丼」など場所とメニューを指定して事前決済頂き、販売拠点ではスマホ画面を見せて頂くだけでスピーディーにお渡しできます。現金などでの決済は想定していません。（現金で購入される方は、2 階 OMU Shop をご利用ください。）
 - ・これらにより、「昼食時に皆さんが一階に降りてきて大混雑する」状況を回避したいと考えています。そのため、昼休み時の教室開放などのご協力をお願いします。
- 
- A white mobile food storage cart with two doors and wheels. The doors have blue vertical panels. It is on four small blue wheels.

カフェ OMU Cafe (4階)

【営業時間】 平日 10：30～15：30

※土日祝日 休業（祝日授業日は営業）



＜営業形態＞

- ・キャッシュオンでの販売を基本とします。生協電子マネーをご利用頂く事ができます。

＜提供する商品群など＞

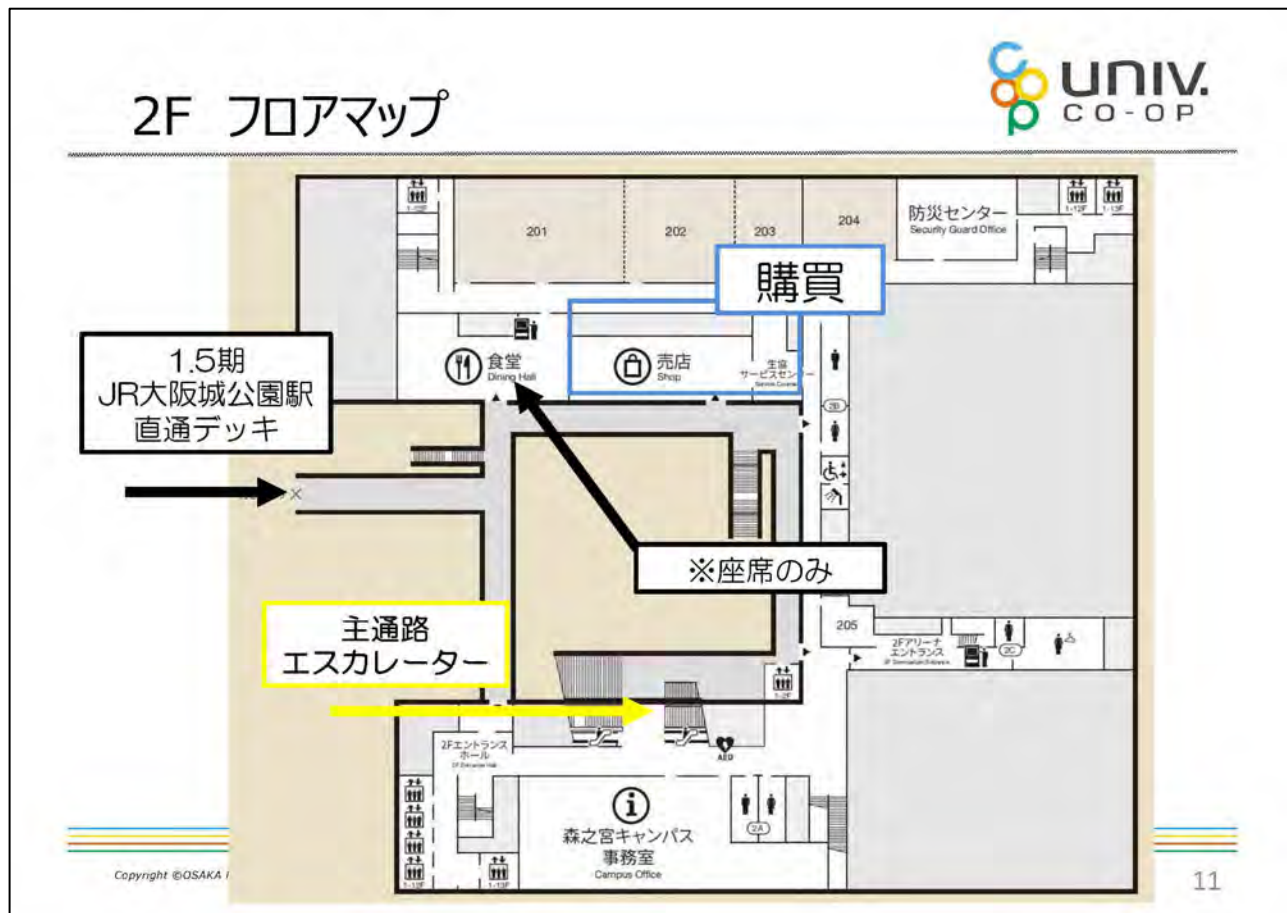
- ・既存キャンパスで人気の焼きたてパンを展開します。4 階カフェを製造拠点とし、カフェでの販売はもちろん、売店での販売も行います。
- ・コーヒーなどのドリンク類を提供します。

・昼休み時はテイクアウト弁当（OMU Banto）販売拠点として、OMU Bento を販売します。

売店 OMU Shop （2 階）

【営業時間】 平日 10：00～17：00 ※短縮営業時は平日 10：15～14：45（予定）

※土日祝日 休業（祝日授業日は営業）



<営業形態>

- ・後レジ精算方式
- ・店内レジ台数 8 台のうち 6 台をセルフレジ（生協電子マネーのみ対応可能）とし、生協電子マネー決済を推進いたします。
- ・有人レジではコード決済・IC 決済などの一般キャッシュレス決済に対応します。

<売り場について>

- ・新入生を迎える店舗として、広く一般に学生・教職員の皆様にご利用いただける商品に加え、新入生に必要となる商品群にも対応できるよう、売場の構成及びお取扱商品（新入生パソコンなどを含む）にメリハリを付けます。
- ・店舗では、コンビニエンス商品を中心に販売し、その他の商品は、企画セールやカタログ販売で組合員様のご要望にお応えいたします。
- ・教職員の皆様をはじめとした公費需要に対応するため、店頭に展開していない商品の取り寄せ並びにリース等案件も含めた対応を行います。
- ・スマートキャンパス実現と決済速度向上を目指し、生協電子マネー専用のセルフレジを 6 台導入します。合わせて、生協電子マネー決済並びにコード決済などの一般キャッシュレス決済も利用可能にします。

<食品などについて>

- ・昼食需要における食堂混雑緩和・利用分散対策として、ショップ店舗に食堂で製造したテイクアウト弁当を温蔵ショーケースにて展開を実施するほか、4 階カフェで製造する焼きたてパンを展開します。
- ・学内コンビニとして、食品・菓子・飲料・デザート・アイスなどを揃え、最寄り品需要に応えます。
- ・カップラーメンについては、残渣問題などを鑑み、当面扱わないことにします。（カップスープ類は別途検討）

<教科書・書籍について>

- ・書籍については教科書を中心とし、店内に書籍在庫を持ちません。書籍 Web サイトより商品を取り寄せての受取、店舗でのご精算に特化します。
- ・教科書につきましては、EC サイト活用による事前決済（お渡しは特設会場想定）にて、混雑緩和を目指し、長い行列にならない取組を計画します。
- ・教科書・専門書・雑誌等は、通常よりも多いポイント還元(通常、生協電子マネー決済で 1%ポイント還元のところ、4%加えて合計 5%ポイント還元)を実施し、組合員のメリットを広げます。(現有店舗でも実施)

<提供する商品群など>

【店舗で在庫して取扱う商品群】

- ・食堂で製造したテイクアウト弁当（温蔵ショーケースにて）
- ・食品
パン、サンドイッチ、おにぎり、飲料、アイスクリーム、菓子類 など
※カップラーメンは扱いません（残渣問題対応）
- ・教科書
基本は特設会場での販売 特設会場終了後の注文対応や特別販売などを想定
- ・文房具
ノート、ファイルリーフ、筆記具、用紙、補助文具 など
- ・日用品
サニタリー用品、ティッシュ、マスク類 など
- ・大学オリジナルグッズ
衣類・食品・文具等の大学オリジナル商品
- ・PC などの情報機器類
新入生向けのパソコン・プリンタ・関数電卓 など
- ・その他
白衣・各種教材・図書カードなど
- ・コピー機は富士フィルム社のクラウドプリンティングサービス「FUJIFILM IW Pro」対応機を 4 階プリントステーションに 2 台設置

【カタログ・EC サイトを中心に取り寄せて対応する商品群】

- ・書籍
EC サイトでの注文を推奨 受取店舗としての機能
- ・情報機器
パソコン本体、パソコン周辺機器、ソフトウェア、電子辞書など
- ・サプライ品

記録メディア、トナー・インクカートリッジ、フラッシュメモリなど

・自転車、家電製品、スポーツ用品、リビング用品 など

【サービスカウンターなどで扱う商品群】

・教材 PC のサポート業務

・オンライン展開の公務員試験対策講座のサポート業務

・サブスクール、英語検定など各種検定、各種通信教育

・自動車教習所、コンタクトレンズ、レンタル用品

・ひとり暮らしマンションの紹介・斡旋（宅建業免許による事業）（予定）

・旅行商品（旅行業免許による事業）（予定）

・引越し、宅配便 など

サービスカウンター OMU Counter （2 階＜OMU Shop 東側＞）

【営業時間】 平日 10：00～17：00 ※短縮営業時は平日 10：15～14：45（予定）

※土日祝日 休業（祝日授業日は営業）

※取扱事業の状況により閉店時間をショップより延長することがあります

＜サービスカウンター機能について＞

・店舗横（東側）に設置されるサービスカウンターでは、学びの支援事業を展開すると同時に、生協にてお問い合わせいただいた新入生パソコンのサポートを実施するほか、それ以外でお問い合わせいただいた方に対する有償にてパソコンのサポートの可否につき検討いたします。

・TOEICをはじめとした各種検定の申込受付や自動車教習所やサブスクールの斡旋など、幅広く勉強と日常生活の利便性を高める事業を推進いたします。

・ひとり暮らしマンション斡旋を実施できるよう、宅建業支店開設（あるいは季節限定臨店）を準備します。

・組合員センター機能を備え、生協加入・学生総合共済など保障事業に関する業務、組合員管理業務、生協電子マネー・大学生協アプリへの対応業務を行います。

・総務スタッフ不在時のオンライン対応（杉本・中百舌鳥と遠隔接続）を検討しています。

無人店舗 OMU Base （1 階学生ラウンジ内）

【営業時間】 基本的に学生ラウンジ運用時間に準ずる

※メンテナンス・保守点検時等除く

＜設置目的＞

・無人店舗を 1 階学生ラウンジ内に設置し、スマートキャンパスに対応します。昼食時間帯の混雑分散を図るとともに、ショップ開店前や閉店後にも食品や飲料等がお問い合わせいただける環境を創出します。

＜営業形態＞

・QR コードによる入店、退店時自動決済によるウォークスルー方式を大学生協ではじめて導入します。

・事前に LINE や google アカウントに紐付けて登録、決済手段を紐付けて頂きます。

・ゲートを通過して好きな商品を手に取り、そのまま退店してください。自動的に決済が完了します。

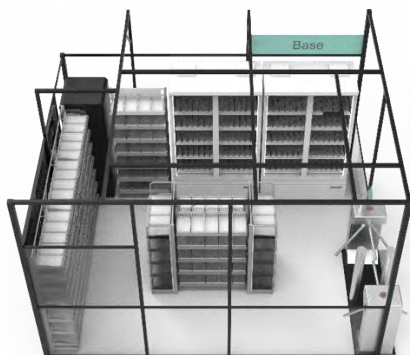
・一度に入店できる人数が限定されます。ゲートで入店をコントロールします。

・現時点では、OMU Base で生協電子マネーをご利用頂けません。

＜提供する商品群など＞

・食品 パン、飲料、アイスクリーム、冷凍食品、菓子類、カップスープ など

冷凍食品は弁当などを用意し、併設レンジでレンジアップして頂く事ができます。
店舗スペースによりお取扱商品群が変更となる場合がございます。



5. 既存キャンパスの店舗との違い

既存キャンパスで展開している生協店舗との違いを示しました。

食堂	カフェテリア 形式	フェア メニュー	チャレンジ キッチン	生協電子 マネーミール	一般 電子マネー	サイネージ 見える化	モバイル オーダー
森之宮食堂	○	○	○	○	○	○	○
大規模食堂 杉本・ 中百舌鳥	○	○	×	○	×	△ 中百舌鳥のみ	×
小規模店舗 羽曳野・ りんくう	△	×	×	○	×	×	×

ショップ	生協電 子マネー	一般電 子マネー	テイクア ウト弁当	書籍	サービス カウンタ	PC サポート	無人 店舗	住まい 斡旋	公務員 試験
森之宮 SP	○	○	○	×	△ 旅行除く	○	○	○ 予定	△ オンライン
大規模 SP 杉本・ 中百舌鳥	○	×	○	○	△ 杉本の み旅行	○	×	○	○
小規模 SP 羽曳野・ りんくう	○	×	×	×	×	×	×	×	×

【4】想定される昼休みの混雑解消に向けて

1. 想定される利用人数

今までの全国の大学生協での経験を元に、5,000 人強の学内人口のうち、2,000 人強が昼食に生協を利用されると想定しています。

そこで、利用客数目標を 2,750 名と設定し、計画を組んでいます。



利用客数目標：2,750名		11時	12時	13時
OMU Bento Base	上層階	250(食)		
OMU Cafe	4F	200		
OMU Shop	2F	200	500	100
		800		
OMU Base	1F	200		
OMU Dining	1F	350	700	250
		1300		

Copyright ©OSAKA Metropolitan University Co-op All Right Reserved.

7

上述の通り、それぞれの店舗・拠点で昼食を販売します。また、分散利用を促すため、食堂の混雑状況を見える化し、発信します。

「皆さんが 1 階に降りてこられず、時間帯も分散してご利用頂く」事ができるよう、取り組みを進めます。

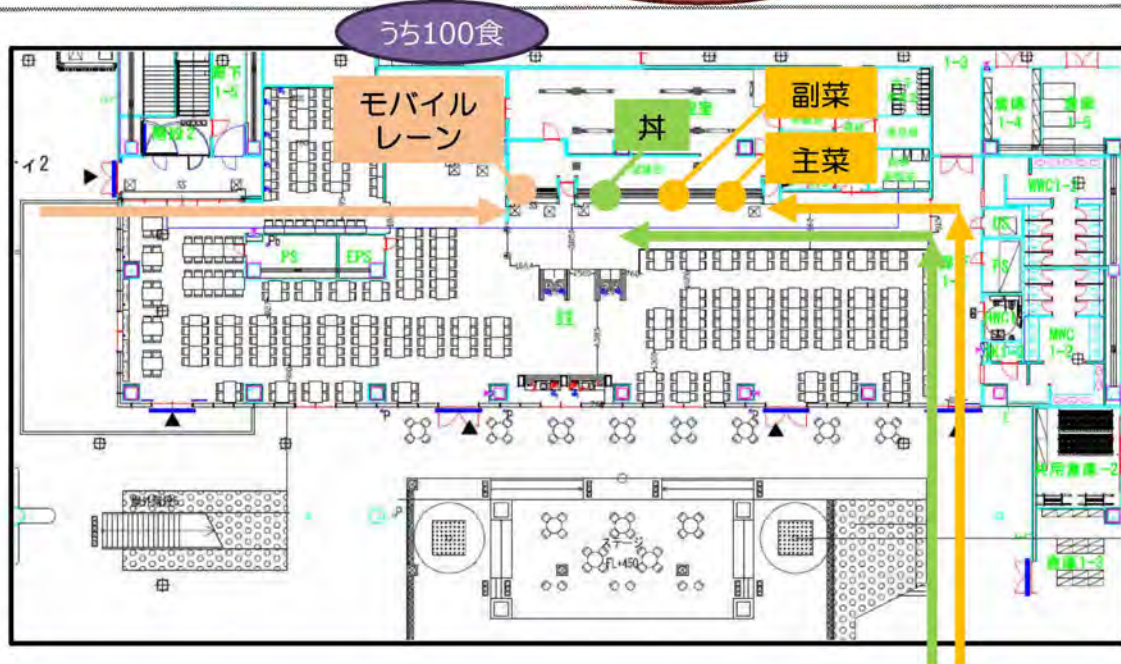
2. 各店舗の想定利用人数

食堂 OMU Dining

- ・昼食時の利用人数を優先するため、注文から出食まで時間の掛かってしまう麺類を昼ピーク時間のみ休止します。
- ・生協モバイル決済で事前決済頂き、お渡しするだけのスピーディーな「モバイルレーン（100 食提供予定）」を設定します。このレーンは、並んで頂く待ち列も通常と違う（西側から並んで頂く）ものにします。
- ・通常の「主菜」「丼類」については、食堂東側の入口から入って頂きます。はじめから「主菜」あるいは「丼類」の二列に並んで頂く事で、待ち列の長さを抑えられるようにします。（トップピークはサブアリーナ手前までの待ち列を想定していますが、遅くとも 15 分ほどで入店頂ける想定をしています。）

1F 食堂

1300食



Copyright ©OSAKA Metropolitan University Co-op All Right Reserved.

9

1F 食堂

1300食



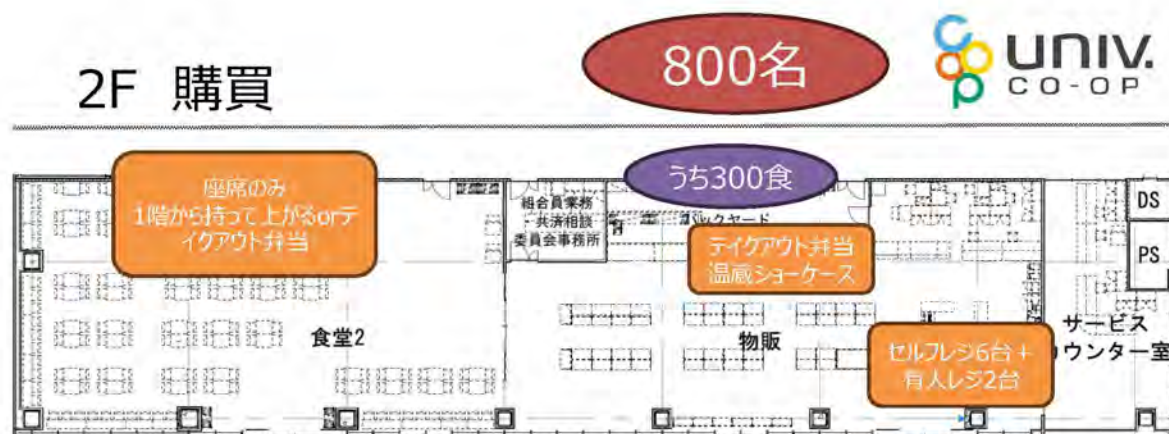
- ・提供スピードにこだわり、麺コーナー休止（昼食時想定）
- ・主菜 12人/分
- ・丼カレー 4人/分
- ・モバイルレーン（生協モバイル決済の活用）
 - テイクアウト容器での定食販売
 - 550円前後 約100食の提供を予定

Copyright ©OSAKA Metropolitan University Co-op All Right Reserved.

10

売店 OMU Shop

- ・メインは OMU Bento の販売となります。 300 食販売予定です。
- ・その他、OMU Café で製造した焼きたてパンやおにぎりなども販売します。
- ・レジもスピーディーに決済頂ける「生協電子マネーセルフレジ」を 6 台設置します。また、有人レジ（温蔵ショーケース横、店舗北側）ではその他のキャッシュレス決済もご利用頂けます。
- ・現金は有人レジのみの取り扱いとします。
- ・これらにより、トップピーク 30 分で 660 名レジを通過できます。昼休みには約 800 名ご利用頂く想定です。



- ・セルフレジ 6台 →レジ通過人数平均3人／分
- ・有人レジ 2台 →レジ通過人数平均2人／分
- ※現金は有人レジのみ利用できる
- トップピーク最大22人／分→ 30分で660名
- ・温蔵ショーケース OMU Bento（テイクアウト弁当）最大300個
- ・焼き立てパン（OMU Café製造）販売 など

カフェ OMU Cafe

- 普段はベーカリー・コーヒーですが、昼食時は OMU Bento 販売拠点となります。
- OMU Café での OMU Bento 販売は、モバイル決済専用とします。モバイル決済なしでご購入の際は、OMU Shop をご利用ください。
- 昼休みには OMU Bento 合わせ、約 200 名ご利用頂く想定です。

4F ベーカリーカフェ

200名



カウンターのみ
焼きたてパン製造
ドリンク提供

客数 200名想定

ライブラリと同フロア
→ドリンク需要を想定

昼ピーク
テイクアウト弁当販売を
併設（予定）



Copyright ©OSAKA Metropolitan University Co-op All Right Reserved.

14

無人店舗 OMU Base

- ・こちらでも昼食時に多くの方にご利用頂く想定です。
- ・昼休みには約 200 名ご利用頂く想定です。

1F 無人店舗

200名



大学生協初

- ・新しい購買体験
- ・ウォークスルー型(実店舗型EC)
 - LINEアプリなどで事前登録・決済連携
 - 購入食品を手に取り、退店するだけ
- ・上層階・導線の近く
 - 授業前の利用・昼ピーク対応



Copyright ©OSAKA Metropolitan University Co-op All Right Reserved.

15

特設販売拠点 OMU Bento Hub (3階・5階・6階<予定>)

- ・現時点では3階・5階・6階に設置予定です。
- ・大学生協初となる生協モバイル決済をフル活用し、OMU Bento Hub では商品を渡すだけにより、オペレーションを簡素化し、スピーディな対応が可能です。
- ・現金等でのその場での決済には対応しません。その場合は2階 OMU Shop をご利用ください。
- ・3拠点合計で250食ご利用頂く想定です。



出張弁当販売×モバイル決済

250食

弁当出張販売 4F～7F 3カ所予定

研究室フロア
13F
12F
11F
10F
9F
8F
7F
6F
5F
4F
3F
2F
1F

実験室
7F
6F
5F
4F

library
5F
4F

大学生協初



モバイル決済 (開発中・イメージ)



温蔵カート
(教育後援会寄贈予定)

Copyright ©OSAKA Metropolitan University Co-op All Right Reserved.

16

キッチンカー（フードトラック）の出店

- ・大学からのご要望に基づき、キッチンカーもプラットフォームと提携し、授業のある平日に2台、およそ11時から15時まで出店します。
- ・混雑緩和はもちろん、「食の多様性」や「食の楽しさ」を演出し、学生さんのキャンパス内での満足度を高めます。
- ・こちらでは、生協電子マネーは利用できません。キャッシュレス決済も、出店者の状況によります。



3. 混雑の見える化と大学サインージ

<混雑の見える化>

2024 年度中百舌鳥キャンパス食堂で実証実験を行った「食堂混雑の見える化」を導入します。

これは、食堂に設置したカメラの画像を AI で匿名化し、混雑状況を見える化するものです。

中百舌鳥キャンパス食堂での実証実験では、学生さんの昼休みトップピークの前後に小さな利用ピークが発生することが確認できています。これは、利用される方が混雑状況を確認し、可能な範囲で利用時間をずらして頂いたと推察しています。

この混雑の見える化を、OMU Dining の待ち列で行います。この情報は、大学生協食堂メニューサイト「Co-menu」や後述の大学サインージで発信します。また、現在計画中の大学アプリへの情報提供も計画しています。

<大学サインージの運営受託>

現在、キャンパスの EV ホールなど 14 か所に、掲示板に替わる「大学サインージ」を設置予定です。

このサインージについて、大学の費用負担なしのスキームを大学生協と協力企業で提供します。

このサインージ内でも、食堂混雑の見える化情報を発信し、キャンパス内に広くお知らせします。これにより、OMU Dining の時差利用を推進します。

大学サインージ受託と混雑の見える化



- ・1階から12階までのEVホールと学生ラウンジなどに設置する大学サインージの運営を生協受託予定
- ・広告コンテンツを配信し、**大学費用負担なし**のモデル
- ・そのコンテンツに「**食堂混雑見える化**」情報を配信
→AIカメラによる混雑状況の匿名化
- ・食堂の**時差利用**（休憩時間後半）を呼び掛ける
→森之宮では時差利用を
あたりまえに



中百舌鳥キャンパス実証実験時の画像



4. SDG s への取組

大阪公立大学生協では、大学の SDG s への取組に賛同し、協力して参ります。

生協で製造する OMU Bento（テイクアウト弁当）に使うテイクアウト容器は、既存キャンパスでも採用していますリサイクル可能なものを使用します。

これは、容器のフィルムが貼ってあり、食べたあとにそのフィルムをはがし、きれいな状態の容器にします。容器回収で課題となる「洗浄」が不要な、皆さんがリサイクルに取り組みやすい容器です。

また、テイクアウト容器の回収については、中百舌鳥キャンパスでも協業している学生団体（環境部エコロ助）と協力して行います。

また、近隣の中浜下水処理場の下水処理水再利用から端を発し、大阪市建設局下水道部と大阪ガスで実証実験中の「お弁当容器のエネルギー化実証実験（バイオプラスチック製容器の再生エネルギー化）」にも協力します。（期間限定）

